

## 次世代ロボット技術による生産システム

近年、第4次産業革命の進展に伴い、工場等での作業効率化のためロボットの導入が進んでいますが、ロボットに意図したとおりに作業をさせるためには、大きな労力がかかります。

今回のセミナーでは、細かな動作指示を行わなくても、ロボットが自分で考えて動作を制御することができる、AI（人工知能）を活用した次世代のロボット技術による生産システムの開発について、金沢大学と株式会社デンソーの取組を紹介します。

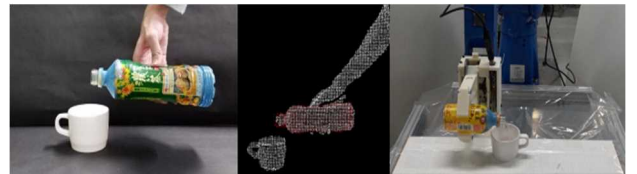
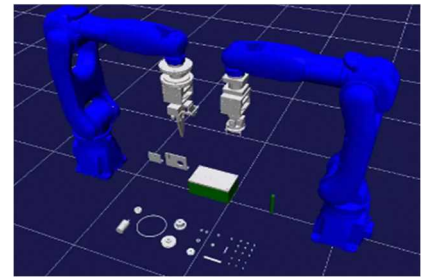
日時：令和2年 **10月8日（木）** 14:00～16:30

会場：**Zoom** を利用したオンライン配信

※Zoom の環境がない方については金沢市異業種研修会館（金沢市打木町東 1400）でスクリーンによる聴講も可能です。

対象：AI、ロボット技術に関心のある企業、  
研究開発機関、行政機関の方々

参加費：無料



### 【セミナー】

#### ① 機械学習<sup>(\*)</sup>を用いた作業動作生成と組立作業システムの開発

金沢大学 理工研究域 フロンティア工学系 准教授 辻 徳生 氏

機械学習を用いてロボットの動作を行う、次世代の生産技術・組立作業システムについて解説します。また、企業との産学連携による取組や、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）のロボット知能化プロジェクトについても紹介します。

※機械学習：ロボットにルールや仕組みを覚えさせる AI の手法

#### ② ディープラーニング<sup>(\*)</sup>のロボット分野への応用と今後の展望

株式会社デンソー AI 研究部・AI エンベデット研究室 課長 尾崎 智章 氏

製品の多品種・少量化に対応可能な、AI を利用したプログラム不要のロボット開発の取組について紹介します。また、開発で用いる、ディープラーニング等の AI 技術の概要や応用例についても解説します。

※ディープラーニング：機械学習の一種で、コンピュータが大量のデータから自動的に潜在的な特徴を発見する技術

## 《講師紹介》

辻 徳生 氏	2005 年 九州大学大学院システム情報科学府知能システム学専攻博士課程修了。同年、広島大学大学院工学研究科 COE 研究員。2008 年 産業技術総合研究所知能システム研究部門、産業技術総合研究所特別研究員。2011 年 九州大学大学院システム情報科学研究院情報知能工学部門助教。2016 年金沢大学理工研究域機械工学系准教授。2018 年同理工研究域フロンティア工学系准教授。現在に至る。博士(工学)。
尾崎 智章 氏	株式会社デンソー AI 研究部 AI エンベデット研究室 1 課 課長。2001 年九州工業大学大学院卒業。同年、大手事務機器メーカーに入社後、高並列プロセッサ及び画像処理システム LSI の研究開発に従事。2013 年株式会社デンソーに入社。画像認識の組み込み技術開発を担当後、2018 年より現職にて、AI のファクトリオートメーションへの応用、特にロボットアームの自律制御に関する研究開発に取り組む。

■ 申込方法：F A X（076-260-7191）又は E メールにてお申し込みください。

■ 申 込 先：金沢市産学連携事業運営委員会事務局  
 金沢市商工業振興課 担当 山田  
 TEL：076-220-2205  
 FAX：076-260-7191  
 E-mail：syoukou@city.kanazawa.lg.jp

詳しくは、Webサイト  
 「金沢市産学連携ネットワーク」  
 をご覧ください。

金沢市産学連携ネットワーク

## 「先端ものづくり技術交流セミナー(第1回)」参加申込書

会 場 (いずれかに○)      オンライン配信 (Zoom) ・ 異業種研修会館 (スクリーン)			
企業名			
所在地 〒			
TEL		FAX	
参加者	役 職	氏 名	E-mail

※申込みをいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内をさせていただく場合があります。